

事業所名	おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマートちやたん2号店				公表日	令和7年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5名	0名	訓練室、相談室、事務室に空間を仕切り、活動に併せてパーテーションを活用	一軒家の為、部屋数が増えた事で死角が多い為、職員の間が行き届く様に配置しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5名	0名	定員内かつ適切な職員配置を行っております。	今後、より専門性を高め密度の高い療育を行う為にも、職員確保を継続的にやっていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4名	1名	対象の利用児の状況に応じ適宜設備している。	事業所が道路に面している為、飛び出し防止の扉を付けています。事業所内はフロアに2色のクッションマットを敷き、活動場所を分けています。一日のスケジュールをボードに貼り付けて構造化を取り入れています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5名	0名	6ヶ月に1回の割合で、ホール内の、模様替え等を行い成長と共に環境変化の取り組みをしています。	特に問題なく子供達が楽しく過ごせる環境になっています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5名	0名	1部屋準備していますのでその都度に利用できますが、日によって人数が多い日は、予約制にしています。	子供の状態を見ながら場所を提供していますが、気持ちの切り替えが苦手の子は部屋からでない事があるので2名ベアード入室するように改善していますが、まだ改善が必要です。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5名	0名	朝礼・終礼を毎日行い、支援計画に則りPDCAサイクルを行っています。	日常的な朝礼・終礼に加え、週次もしくは月次にて業務改善に向けて会議の場を設ける予定です。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5名	0名	保護者からのご意見はLINEや口頭で把握し職員間で周知を行っています。	今後、ご意見を受けて改善を行った際、保護者へ口頭やLINE・会報等を通じてレスポンスを行う予定です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5名	0名	朝礼時間を30分開催して職員一人一人の意見や考え方を毎朝発言してもらう様にしています。	振り返りを行い次への活動や支援の仕方・見直し・改善を行っていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4名	1名	現在、第三者による外部評価を行っておりません。	現在、第三者による外部評価を行っておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5名	0名	職員の専門性を高める為にも研修等へ積極的に参加しております。	研修後は他の職員への情報共有や日常的な支援に還元しております。今後もあらゆる研修に参加し職員の資質向上を図ります。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5名	0名	チームで話し合っ作成しています。	年1回、公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5名	0名	当事業所において児童の行動や状況、来歴が認識できる様なアセスメント様式を使用しております。	年1回の再アセスメントを行い状況把握を行っています。常時得られた情報を職員共有を図っていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5名	0名	モニタリング後に全職員と内容を共有し、今後の支援内容については会議を行い意見交換と共通理解の下、検討し、支援計画を作成しています。	児童に関わる職員が納得して支援できる計画書の作成に努めていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5名	0名	話し合いの他、各支援計画書を1冊のファイルにまとめ、必要な時にすぐに確認できるようにし、統一した支援ができるよう工夫しています。	児童に関わる職員全員が同じ方向性(計画に沿った)をもって統一した支援が行えるように努めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3名	2名	保護者からのアセスメント、職員間で共通理解ができるインフォーマルなアセスメントで、子どもの成長や状況の把握を確認できるようにしています。	インフォーマルなアセスメントについては、記録者が固定化されつつある為、全職員が子どもの行動観察力を強化し記録に残すことを習慣づけ、日々の支援に活かしていけるようにします。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5名	0名	各子どもの成長や目標、状況に合わせて必要な項目を選択し、新たに支援する計画についても、支援方法や用具の必要性等も考慮して支援内容を設定しています。	5領域と本人、家族、移行支援等を踏まえたねらい及び支援内容で支援計画を作成しています。利用者の要望や成長に考慮した支援内容を設定し、また支援がしやすい(わかりやすい)計画書になるよう努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5名	0名	療育チームで話しあって立案しています。	1人の職員で行わず、あらゆる意見を取り入れ活動プログラムの作成を行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5名	0名	子供達が色々な体験が出来る様に工夫をしています。	月々の行事や季節を大切に、児童がより楽しめる活動を組んでいます。今後は地域交流を深められる活動を組み込む予定です。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5名	0名	児童の成長や発達、また本人と保護者の希望に考慮して、個別活動と集団活動を組み合わせ活動しています。	その日の体調や気分に応じて活動内容を変更するなどの対策を取り、気持ちに寄り添った支援を心がけていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5名	0名	朝礼にて保護者からのLINEや児童状況を職員間で共有し支援準備を行っています。	より個々の児童に焦点を合わせ、専門的な支援が出来る様、十分な準備を務めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5名	0名	終礼時に実施しています。	終礼にて、その日利用した児童の行動や課題に対する様子を職員間で共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5名	0名	毎日記録をとり、各子どもの状況把握と支援の検証・改善を心がけています。	記録者が固定化しつつあるため、色々な場面、目線、考えの下で検証や改善ができるよう、積極的に記録をとる習慣を促していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5名	0名	児童発達支援管理責任者が定期的に行っている。	関係機関(保護者・相談員・役所・事業所)で6か月ごとにモニタリングを行い現在の支援内容が適切であるを見極めたくて計画書の見直しの必要性を判断しながら取り組む。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5名	0名	児童発達支援管理責任者が定期的に行っている。	ガイドラインに沿った支援を行っています。個々に合った自立支援や創作活動や余暇活動も積極的に取り入れています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5名	0名	活動中に使用する色や物などを複数用意し、児童に指差しや目線で選べるようにしています。	活動中だけでなく日常生活においても自己決定できる機会を増やしていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5名	0名	児童発達支援管理責任者と職員の2名参加で取り組んでいます。	職員の質の向上に今後も務めていきます。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1名	4名	必要に応じて関係機関との連携をとり、情報の共有や相談、アドバイスを受け、支援に繋げています。	最善な状況で支援ができるよう、関係機関との連携体制を強化していきます。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5名	0名	学校、家族と密に連絡を取り合い、トラブル発生時は早期に連絡できるようにしています。	学校、家族と密に連絡を取り合い、トラブル発生時は早期に連絡できるように継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5名	0名	保育所、幼稚園、認定こども園等の関係機関より情報共有を行っています。	各関係機関との関係構築を行っており、電話や訪問等を行い児童の情報共有を図っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1名	4名	現在、対象の利用児なし。	現在、対象の利用児なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1名	4名	こちらから機関へ電話を入れ情報収集しています。	支援内容などについて、専門機関から助言を受け、必要に応じて支援方法の見直しや取り組みをしている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1名	4名	今後交流予定です。	地域自治会に加入しており、今後公民館を通して交流を予定しています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5名	0名	町内の協議部会の開催がない為、行政機関(障害福祉課)の主催の会議に積極的に参加しています。	町内の部会や会議等の参加を希望していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5名	0名	送迎時にその日の児童の様子や変化について話をし、共通理解を得ています。その他、日々の連絡帳や必要に応じてラインで事業所での様子をお伝えし、児童の状況や成長を共有しています。	保護者への連絡は密にとれる体制を整え、安心してご利用いただけるように努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5名	0名	常に行っています。	LINEの写メや動画などで細かく支援の対案を提供させてもらっています。今後も継続して取り組んでいきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5名	0名	保護者と共通理解を図るためにも、時間を確保して説明しています。	契約時に丁寧に説明するとともに、事業所内に重要事項説明書を開示しています。支援内容には関しては日々の送迎の時に細かく家族へお伝えしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5名	0名	最低6か月に1度、児童発達支援計画を更新する際は必ずモニタリングを実施し、児童と家族の意向を確認しています。	児童と家族の状況や困りごと等を聞き取り、児童と家族に寄り添った児童発達支援計画書の作成に努めていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5名	0名	保護者とモニタリングで話し合いのもと支援内容を設定し、同意を得ています。	保護者が納得できる支援内容の設定と説明ができるように努めていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5名	0名	保護者とのLINE会話を常に支援を実施している。	保護者の小さな相談にも耳を傾け、少しでも悩みが解決できる体制を職員間で体制を整えています。その都度、家庭訪問しながら助言や支援をさせていただいています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5名	0名	年に1回、家族参加のイベントを開催し保護者同士の交流の機会を設けています。また、きょうだいの参加も積極的に受け入れ交流の場を設けています。	現時点では、保護者会等の開催ができていない為、今後保護者同士の情報共有や関わりが持てる機会を設けていきたいと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5名	0名	児童や家族から相談等があった時は迅速、且つ適切に対応できるよう心がけています。相談や申し入れ方法については、契約時に周知・説明をしています。	保護者が相談したいと思ったときに、気軽に相談できる窓口となれるような事業所を目指していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5名	0名	ホームページの更新(自己評価の結果配信含む)、行事予定等配布、連絡帳や個別で連絡が取れるラインを使って連絡等や情報の発信をしています。	保護者との連絡は常にできる状態で連携をとっています
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5名	0名	個人情報取り扱いについては厳重に行っています。	個人情報記載された書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。また、職員間の守秘義務を徹底しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5名	0名	電話やラインで直接話をするこどもで、保護者の不安・悩みを取り除くことができるよう配慮しています。	絵カードや手話を用いて意思疎通を図っています。また、自己決定を尊重するためにも、表情や仕草を見たり顔つき等を確認しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1名	4名	地域住民の方を招待した行事参加は実施していないが、ハロウィンイベントで地域の方との交流の機会をもち、事業所への理解や連携が持てる関係を築いています。	今後の目標として、感染症対策に考慮しながら、地域との関わりを広げていけるよう行事の開催を目指していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5名	0名	各種マニュアルを整備し、年間研修計画に沿って研修や訓練を実施しています	感染症対応や防犯対策、緊急時対応などを公文書の配布やLINE等の連絡ツールを用いて周知しています。また、事業所内にも掲示し児童・職員への周知も行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5名	0名	半月に一度の避難訓練と業務継続計画の職員研修・訓練、行政受講を実施しています。	半月の避難訓練と業務継続計画の職員研修・訓練、行政の講習の実施を継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5名	0名	契約時に服薬、予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認し、内容を職員に周知しています。	年度ごとに状況を確認する体制をとっています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5名	0名	必要な子どもについては、医師の指示書を持参いただき、指示書に基づく対応をしています。	保護者へ年度ごとに指示書を更新していただくよう依頼しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5名	0名	安全計画を策定し、施設や設備の安全点検や職員に研修を実施しています。	安全計画を策定し、施設や設備の安全点検や職員に研修の実施を継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5名	0名	契約時の説明、また契約時に各子どもそれぞれの緊急時対応を細かく聞き取り、対応方法を画面にし職員で全体周知しています。	安全計画の策定、施設や設備の安全点検や職員研修の実施について、家族等への周知方法を見直し、日々安心して利用できるように工夫していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5名	0名	危険を伴うような事例が見つかった時はすぐに報告書を作成し、職員の全体周知と対策・改善に向けて話し合い、子どもの安全確保に努めています。	事業所内でのヒヤリハットの共有、再発防止に向けた話し合いの実施を継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5名	0名	虐待防止のマニュアルを整備し、年間研修計画に沿って研修や訓練を実施しています。	虐待防止のマニュアルを整備し、年間研修計画に沿って研修や訓練の実施を継続していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5名	0名	身体拘束についてマニュアルを整備し、契約時に説明と同意を得て、また児童発達支援計画書に反映させ、内容の周知と同意を得ています。	身体拘束についてのマニュアル整備と、児童発達支援計画書へ内容記載実施を継続し、保護者の同意をえらるよう努めています。	